

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和2年2月13日(2020.2.13)

【公開番号】特開2018-124188(P2018-124188A)

【公開日】平成30年8月9日(2018.8.9)

【年通号数】公開・登録公報2018-030

【出願番号】特願2017-17156(P2017-17156)

【国際特許分類】

G 0 1 N 21/17 (2006.01)

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 21/17 6 3 0

A 6 1 B 3/10 R

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月24日(2019.12.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

OCT光源から出射される光を測定光と参照光に分割し、被検物からの前記測定光の反射光と、前記参照光とが合成されたスペクトル干渉信号を検出するOCT光学系と、

前記OCT光学系から出力されるスペクトル干渉信号を処理してOCTデータを取得可能なOCT装置であって、

第1のFPNを発生させる第1の光学部材と、前記第1のFPNよりもゼロディレイ位置から離れた位置に第2のFPNを発生させる第2の光学部材と、を少なくとも備え、少なくとも2つのFPN信号を生成するためのFPN生成光学系と、

前記第1のFPNと前記第2のFPNとを検出可能な検出手段を有し、前記検出手段によって検出された前記第1のFPNと前記第2のFPNを処理し、前記第1のFPNに基づく各波数成分のマッピング情報と前記第2のFPNに基づく各波数成分のマッピング情報との間の差分情報に基づいて、各波数成分のマッピング状態を補正するための補正情報を得る補正情報取得手段と、を備え、前記補正情報を用いてOCT画像を得ることを特徴とするOCT装置。

【請求項2】

前記FPN生成光学系は、光路分割部材を備え、

前記第1の光学部材は、前記光路分割部材によって分割された第1の光路に配置され、

前記第2の光学部材は、前記光路分割部材によって分割された第2の光路に配置されていることを特徴とする請求項1のOCT装置。

【請求項3】

前記第1の光路と前記第2の光路は、互いに異なる光路長を持つと共に、前記第1の光路の分散量と、前記第2の光路の分散量とが等しいことを特徴とする請求項2のOCT装置。

【請求項4】

前記検出手段は、前記第1のFPNと前記第2のFPNの両方を同時に検出可能であることを特徴とする請求項1～3のいずれかのOCT装置。

【請求項5】

前記 F P N 生成光学系は、

第 1 の F P N に対する光学的距離によって導かれる第 2 の F P N の感度減衰カーブよりも、第 2 の F P N の信号強度が相対的に上回るように設定されていることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれかの O C T 装置。